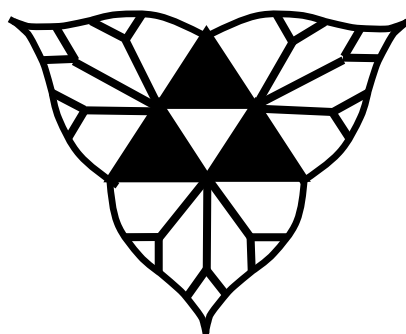


令和8年度学習シラバス

〔第3学年〕



学ぶ 鍛える 思いやる

八王子市立城山中学校

令和8年4月

もくじ

1	学習活動に臨む場	1
2	自己の進路実現に向けて、粘り強く取り組みます	2
3	学習指導要領と学習評価（全学年共通）	3
4	学習活動に臨む場	7
5	社会	9
6	数学	11
7	理科	14
8	音楽	16
9	美術	18
10	保健体育	19
11	技術家庭	21
12	英語	24

1 学習活動に臨む場

学校は、あなた自身が、そして仲間と共に沢山のことを学び合う場所です。学習活動に臨むにあたって、先生から教えていただき、あなた自身が取り組む、そして仲間と共に学ぶという3つの点で考えることが大切です。

学校は、教科の学習をするためだけに通っているのではありません。学校における全ての学習活動（道徳科を含む各教科、総合的な学習の時間、学級活動、委員会活動、学校行事、部活動等）は、これからの社会がどのように変化して予測困難になったとしても、自分の夢や目標の実現を図る力を身に付けるために行うものです。

さらに、よりよく生きるためには、自分も相手も大切にすること、自分を取り巻く多くの人に感謝する気持ちをもつことができる人となること等、人としての豊かな心を育てることも目的としています。

これらのことから、城山中学校において、誰にとっても大切な学習活動に取り組む姿勢について、確認をします。

◇一人一人の「学びに向かおうとする」気持ちが学習の場を創ります◇

- (1) チャイムとともに、落ち着いた気持ちで授業を始めます。
- (2) 授業に必要な持ち物は忘れません。忘れたら、あなたから先生に伝えます。
- (3) 姿勢を正して学習します。姿勢が崩れると身に付く力も減ります。
- (4) この時間の「授業のねらい」を達成させます。
- (5) 授業中に勝手なことはしません。何かあれば、先生に尋ねます。
- (6) 学校は間違いや失敗をしてもいい場です。間違いや失敗から学ぶことはたくさんあります。仲間の発言等に、笑ったり悪口を言ったりしません。
- (7) 丁寧な言葉遣いで話します。
- (8) どの先生に対しても、あるべき姿で授業に臨みます。
- (9) 始業と終業の起立時は、椅子を机に入れて正しい姿勢で挨拶をします。
- (10) 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。

学び方の工夫

〈予習〉分からないところにチェックを入れる 自分なりのめあてをもつ

〈授業〉「今日のめあて」を確認する ノートに自分なりの気付きや疑問を書く
何が分かったか書き出す 何が分からなかったか書き出す

〈復習〉学んだ内容をまとめ直す 新たに沸いた疑問を書き出す

「正解」よりも、正解に至った「道筋」を大切にする

2 自己の進路実現に向けて、粘り強く取り組みます

3年生の皆さんは、1・2年次に学習した内容が自分の力になっていますか。

3年生の学習は、3年生になってから学ぶ事と並行して、夏が終わるまでに1・2年次に学んだことの復習に取り組む必要があります。

なぜなら、高等学校等、上級学校の入学試験で出題される問題の内容は、中学校の3年間で学習した内容が基本になっているからです。ですから、これまでの学習内容が身に付いていないと、入学試験の問題も解けないことになります。

つまり、上級学校の入学試験に向けた準備とは、学校における学習活動の充実が土台になってくるということです。この機会にもう一度、学校や家庭等における日々の学習活動の取組について確認をし、取り組み内容の充実を図ってください。

「何が分かっている、何が分かっていなく、どうすればできるようになるのか」

を、あなた自身が客観的（いいとか悪いとか、だから私は…ではなく、事実として）に受け止めます。そして、目指す目標に向かって感情や行動を自分で調節してることが大切になります。

学習活動は自分自身で取り組みますが、「受験は団体戦」という言葉があるように、自己調整の確立に向けては、先生や家族、仲間の存在が欠かせません。

このシラバスには、3年生の1年間、日々の学校での学習や家庭学習の進め方、定期考査に向けての取組等、皆さん一人一人の学習を支援するための内容が、教科ごとに示されています。学期の初めや終わりによく読んで、「新たな知識を得る楽しさ」や「分かることの喜び」をさらに実感し、学習の楽しさそのものを実感してください。

シラバスには次の内容が示されています。

- (1) 学習の進め方
- (2) 学習する上での注意
- (3) 家庭学習の進め方
- (4) 定期考査前の学習方法
- (5) 3年生での学習内容
- (6) 学習評価

3 学習指導要領と学習評価（全学年共通）

学校における教育活動の根幹に、国が示した「学習指導要領」があります。

これは、子供の変化や社会の要請、時代の変化等を踏まえながら約10年ごとに改訂をしており、中学校では平成29年に示された学習指導要領が、3年間の移行措置を経て令和3年度より完全実施となりました。

今回の改訂は、目まぐるしく変化し、先に読みにくい社会であっても、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指しています。

また、学校、家庭、地域の関係者が幅広く共有し活用できる「学びの地図」としての役割を果たすことを求めています。



※高校教育については、些末な事象的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

（文部科学省HPより）

(1) 学習評価についての基本的な考え方

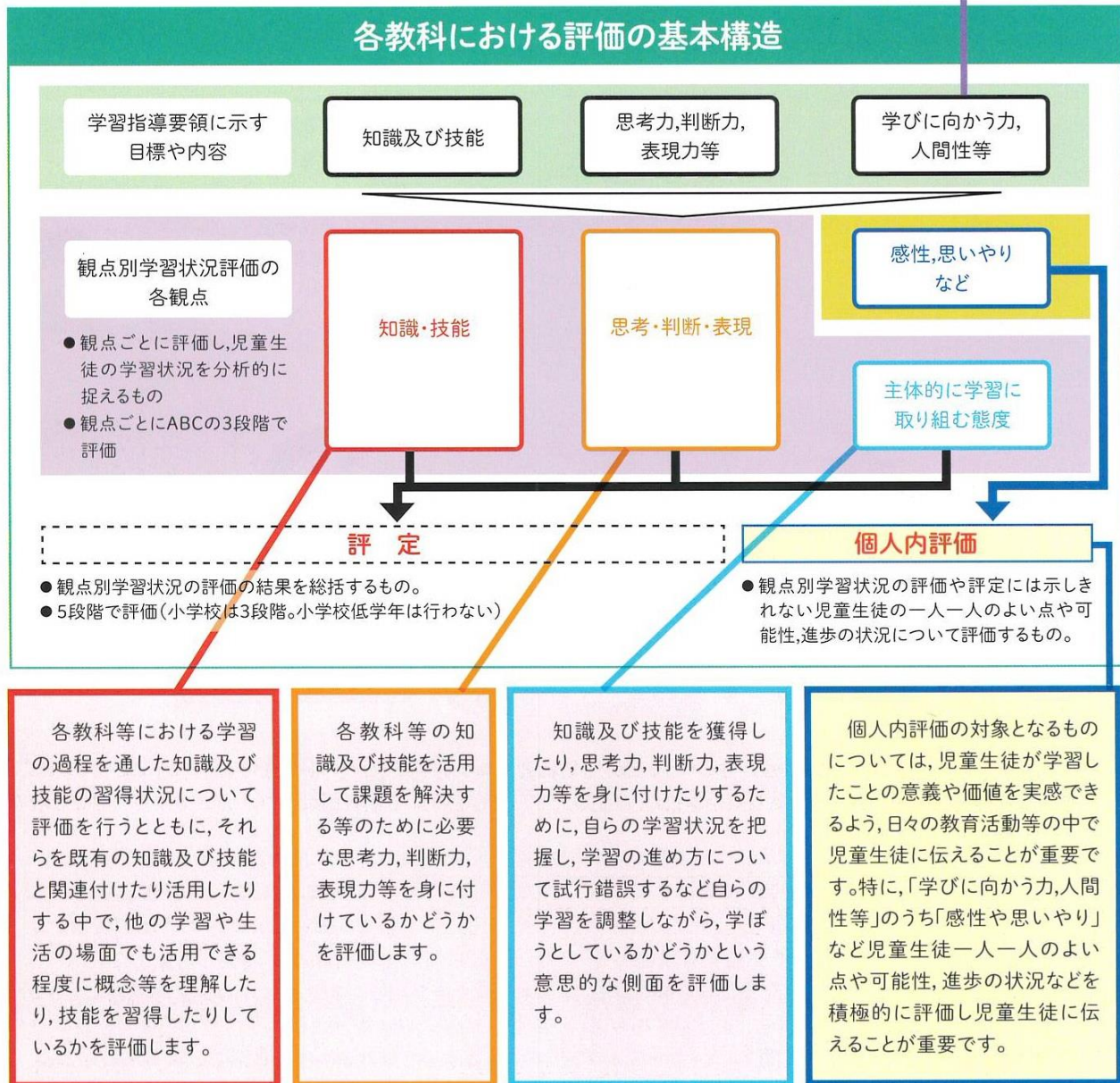
学習評価は、学校における教育活動に関しあなた方の学習状況を評価するものです。先生方にとってみれば、「生徒にどのような力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、これからの指導の改善を図るとともに、あなた方が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、学習評価の在り方は重要であり、教育課程の見直し、学習の定着度の把握、指導方法の改善と一貫性のある取組を進めています。

(2) 学習評価の構造

平成29年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

「学びに向かう力、人間性等」には

- ①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価(学習状況を分析的に捉える)を通じて見取ることができる部分と、
- ②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。



(国立教育政策研究所『学習評価の在り方ハンドブック』より)

(3) 観点別学習状況の評価

観点別学習状況の評価とは、学習指導要領の内容に照らして、その実現状況がどの程度のものであるのかを観点ごとに評価し、生徒の学習状況を分析的に捉えます。

定期考査は複数ある評価材料の一部であることから、定期考査の結果のみをもって、評価並びに評定算出の根拠にはならないことを御理解ください。

① 「知識・技能」の評価方法例

- ア ペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得等問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮をする
- イ 生徒が文章による説明をする
- ウ 観察・実験、式やグラフで表現する等、知識や技能を用いる場面を設ける
- エ 実技の状況をみとる

② 「思考・判断・表現」の評価方法例

ペーパーテストのみならず、以下の例による様々な活動を取り入れたり、それらを集めたポートフォリオを活用したりします。

- ア 論述やレポートの作成
- イ グループや学級における話し合いから深めた考え
- ウ 作品の制作や表現等

③ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価例

「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえて、評価します。

- ア ノートやレポート、学習カード等の記述内容（提出状況ではありません）
- イ 授業中の発言内容（回数ではありません）
- ウ 教師による行動観察
- エ 生徒による自己評価や相互評価の状況を教師が評価するときの材料の一つとして考慮

(4) 評価・評定の算出

① 中学校学習指導要領に示された目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価した達成率によって、「観点別評価」を、A・B・Cの3段階で表されます。

80%以上	A（十分達成した）
50%以上80%未満	B（おおむね達成した）
50%未満	C（努力を要する）

- ② 中学校学習指導要領に示された目標に照らして、その実現状況を総合的に評価した達成率によって 「評価」を、5・4・3・2・1の5段階で表されます。

観点別評価	達成率	評 定	達成率
A	80%以上	5	90%以上 (特に程度が高い)
		4	80%以上90%未満 (十分達成した)
B	50%以上80%未満	3	50%以上80%未満 (おおむね達成した)
C	50%未満	2	20%以上50%未満 (努力を要する)
		1	20%未満 (一層努力を要する)

- ③ 本校で、設定した上記の基準を設定した場合における観点別評価と評価の関連

観点別評価	最大	最小	評 定	観点別評価	最大	最小	評 定
AAA	100	80.0	4, 5	ACC	66.6	33.3	2, 3
AAB	93.3	70.0	3, 4, 5	BBB	80.0	50.0	3
AAC	83.3	53.3	3, 4	BBC	69.9	33.3	2, 3
ABB	86.6	60.0	3, 4	BCC	59.9	16.6	1, 2, 3
ABC	76.6	43.3	2, 3	CCC	49.9	0	1, 2

(最大、最小単位：%)

- ④ 総合的な学習の時間の評価は、文章表記で表されます。
 ⑤ 特別の教科 道徳の評価は、学年末に文章表記で表されます。
 ⑥ 第3学年2学期の評価・評価は、第3学年4月から12月までの学習活動の状況と成果を表します。

4 学習活動に臨む場

- 時数・・・週3時間
- 内容・・・読解（現代文・古文）・文法・書写 「読む・書く・話す・聞く」

(1) 学習の進め方

- ① 漢字小テスト・・・漢字練習字典を順番に学習する。
- ② 単元学習・・・教科書の内容を、便覧・ワーク・Chromebook・辞書・プリント等を活用して学習する。書写の学習には、B以上の筆記用具や習字道具を使用する。
- ③ ふりかえり・・・授業内課題が未完の場合は、次時までに取り組み、完了する。

(2) 学習する上での注意 約束事

- ① ノートは、縦書きとする。
- ② 常用漢字は必ず漢字で記載する。
- ③ HB以上の濃い筆記用具を使用する。
- ④ 提出物は、指定日・指定時間内とする。（遅刻は満点を十分の一とする。）
- ⑤ 授業で使用したプリント類その他は全てファイルに綴じこむ。
- ⑥ 提出物は、指示された形態のみ評価対象とする。

(3) 家庭学習の進め方

- ① 予習
 - ・ 漢字練習・・・硬筆書写の評価を兼ねる。
 - ・ ワーク・・・漢字、語句を中心に随時進めて可。
- ② 復習
 - ・ 授業内課題が未完の場合は、次時までに取り組み、完了する。
 - ・ 授業内容に該当する便覧、ワークを活用して学習する。
- ③ 提出物
 - ・ ノート、ワーク、プリント、Chromebookで等。余裕をもって完了し、理解を深める。

(4) 定期考査の学習方法

- ① 試験前のみならず、日常的に繰り返しの学習が必須。
- ② 授業内容について、ノートを中心に、便覧・ワーク・Chromebook 課題・プリント等の該当箇所を充分見直し、「書く」学習を徹底する。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	伝え合う言葉 中学国語3
副教材	よくわかる国語の学習3+MANAVIRIA 漢字練習字典 便覧 3年間の総整理問題集 模擬トレ
ノート	国語ノート 文法ノート 漢字ノート

(6) 学習内容

学期	月	単元	書写
1	4	春に 立ってくる春 なぜ物語が必要なのか 情報を確かめてスピーチする	硬筆
	5	私 薔薇のボタン メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 構成を工夫して主張をまとめる 新聞が伝える情報を考える 呉音・漢音・唐音 助詞のはたらき	
	6	AIは哲学できるか 客観性や信頼性のある記事を書く 熟字訓 和語・漢語・外来語	
	7	async 同期しないこと 問いかける言葉 説得力のある批評文を書く 最後の一句 助動詞のはたらき 相手に対する配慮と表現	
2	9	実用文の情報を捉えて生かす 旅への思い-芭蕉と『おくのほそ道』 和歌の調べ-万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 異字同訓 慣用句・ことわざ	毛筆
	10	風景と心情-漢詩を味わう 俳句の味わい 初恋 故郷 自己PR文を書く 評価しながらスピーチを聞く コミュニケーションの場を考える 四字熟語	
	11	持続可能な未来を創るために-人間の生命・存在を考える 生命とは何か 地球は死にかかっている 水の星 コミュニケーションの場を考える	
	12	「対話力」とは何か 自分の意見を述べる時 意見を共有しながら話し合う 小論文演習 入試過去問演習	
3	1	中学校生活をまとめて作品集を作る 入試過去問題演習	↓
	2	バースデイ・ガール 入試過去問題演習	
	3	青春の歌-無名性の光 やわらかな想い	

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査 小テスト 提出物
思考・判断・表現	1	定期考査 発表活動 提出物
主体的に学習に取り組む態度	1	主体的な学習シート 提出物

5 社会

(1) 授業の進め方

- ① 授業のはじめに、その時間の目標を先生が説明するのでしっかりと聞きます。
- ② 私語は厳禁です。
- ③ 先生の話は、先生の顔を見て真剣に聞きます。
- ④ わからないことはそのままにしないで、先生に質問してください。
- ⑤ 定期的にグループで行います。協力できるグループは実力が付きます。
- ⑥ 毎時間の授業のふり返りは必ず書きます。

(2) 学習する上で注意すること

- ① なぜそうなるのか、疑問をもつことが力を伸ばします。
- ② 自分の考えをしっかりと発言できるようにします。(間違ってもよいのです)
- ③ 提出物は、期限を守って必ず提出しましょう。クロムブックの提出物は期限が切れたら提出することができなくなります。

(3) 家庭学習の進め方

- ① 授業のあった日は短時間でよいので必ず教科書やプリントを見直します。
- ② 分からない事があったらノートやプリントにメモして自分なりに調べてみます。
- ③ 課題が出たら必ず取り組みましょう。
- ④ 歴史の完全学習、社会の新研究を何回も解きなおして答えられるようにします。

(4) テスト前の学習の仕方

- ① 教科書やプリントの内容を読み込み、確認して答えられるようにします。
- ② 歴史の完全学習、社会の新研究を活用して復習します。

(5) 学習内容

学期	月	単元名
1	4	【歴史】 第一世界大戦と民族独立の動き、高まるデモクラシーの意識 【公民】 私たちが生きる現代社会
1	5	【歴史】 戦争に向かう世論、第二次世界大戦の惨禍 【公民】 現代につながる伝統と文化
1	6	【歴史】 第二次世界大戦の惨禍 【公民】 日本国憲法の成り立ちと国民主権
1	7	【歴史】 敗戦から立ち直る日本 【公民】 憲法が保障する基本的人権
2	9	【歴史】 世界の多極化と日本の成長 【公民】 憲法が保障する基本的人権、私たちと平和主義
2	10	【歴史】 これから日本と世界 【公民】 民主政治と日本の政治、消費生活と経済活動
2	11	【公民】 三権分立のしくみと私たちの政治参加、企業のしくみとはたらき
2	12	【公民】 地方自治と住民の参加、市場のしくみとはたらき
3	1	【公民】 国際社会の平和をめざして、金融のしくみと財政の役割
3	2	【公民】 国際社会が抱える課題と私たち、暮らしを支える社会保障
3	3	【公民】 持続可能な未来の社会へ

(6) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査、小テスト、提出物（レポート等）
思考・判断・表現	1	定期考査、小テスト、提出物（レポート等）、発表、グループ学習、授業態度
主体的に学習に取り組む態度	1	授業態度、提出物（課題への取組、レポート等）グループ学習

6 数学

授業時数 … 週4時間

クラス分け … 習熟度別少人数クラス

(1) 学習の進め方

- ① 単元学習 … 教科書の内容 ⇒ 問題演習（教科書の問題やプリントで）
- ② 自習用ノート … 数学の勉強(教科書の問題、ワーク、その他問題集)をノートに集約します。番号を付け、蓄積します。

(2) 学習する上での注意

2年生では、基礎、基本的な計算の技能や図形・関数の知識を身に付ける学習を進めてきました。

3年生では、2年生までに学習したことをもとにして、学習内容が積み上がっていきます。これまでの学習内容で、理解が不十分である場合は、その都度復習をしておきます。

以下、細かな注意点を記載します。

- ① ノートは罫線入りのB5ノートまたはA4ノートを用意する。
- ② 途中式は省略せずに丁寧に書きます。（間違えた場合に振り返りができます）
- ③ グラフや図形は丁寧に書きます。（できればフリーハンドでも書けるようになる
とよい）
- ④ 提出物は、指定日までに提出すること。
例) 振り返りプリント、ワーク、自習用ノートの提出など。
- ⑤ 授業内で使用したプリント類はファイルに閉じて整理する。

(3) 家庭学習の進め方

- ① 予習
 - ・ 受験に向けて、新しい単元の予習を計画的に行うことをお勧めします。
- ② 復習
 - ・ 学習した単元に沿ってワークを進めます。
 - ・ 自習用ノートを用意し、やり直し等を行う。
 - ・ 授業内で課された課題があれば取り組むこと。
- ③ 提出物
 - ・ ワーク…丸付け・やり直しをして提出。わからない問題は答えをみてもかまわないが、色ペンで答えを写しやり直しをすること。
 - ・ 振り返りプリント…定期考査ごとwwに振り返りを提出。具体的に自己分析を行うこと。

(4) 定期考査前の学習方法

- ① 試験範囲の問題集などを終わらせて自分の間違えた問題にチェックをつけておく。
- ② 問題集や授業で間違えたところ、分からなかったところは質問して、解き直しをして不明な部分がなくなるようにしましょう。

(5) 学習内容

月	学習内容	月	学習内容
4月	1章 式の展開と因数分解	10月	5章 図形と相似
5月	2章 平方根	11月	6章 円の性質
6月	3章 二次方程式	12月	7章 三平方の定理
7月	4章 関数 $y=ax^2$	1月	8章 標本調査とデータ活用
8月		2月	3年間の総復習
9月		3月	

(6) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	○定期考査 ○単元テスト ○小テスト ○振り返りプリント
思考・判断・表現	1	○定期考査 ○単元テスト ○小テスト ○振り返りプリント
主体的に学習に取り組む態度	1	○提出物(ワーク、自習用ノート) ○振り返りプリント

7 理科

(1) 学習の進め方

○授業構成A（教室）

導入：本時のめあて提示
展開1：例示実験／動画視聴／資料提示
展開2：解説／学習活動
終末：まとめ、振り返り活動

○授業構成B（実験室）

導入：実験の目的確認
展開1：実験の手順説明
展開2：実験活動
終末：結果の共有、考察

(2) 学習する上での注意

理科は身近な現象を学んでいく教科です。教室で知識を学んで終わりではなく、学んだ知識を実際に使ってみることが大切です。日ごろの体験からいろいろな現象に対して「なぜ？」という疑問をもつことができれば、それが理科への興味につながります。

また、3年生で扱う内容には、1・2年生で学んだ内容を理解したことを前提にしている単元がいくつかあります。3年生の授業が分からなくなったときは、関連する1・2年生の内容を復習するとスムーズに学習がすすみます。

実験室では壊れやすい器具や危険な器具などがたくさんあります。正しい使い方を学ぶ前に使うと、器具の破損やけがにつながりますので、説明を受けるまでは勝手に触らないようにしましょう。

(3) 家庭学習の進め方

理科は予習より復習が大切です。家に帰った後、その日の授業資料（教科書、ノート、プリント等）を見返すだけでもかなりの学習効果が見込まれます。問題集を一括購入するので、対応するページをその日のうちに解くのもよいでしょう。家庭学習でわからなかったところは付箋を貼るなどし、後日先生に聞いたり調べたりしておく、効率よく学習が進められます。

(4) 定期考査前の学習方法

授業の資料（プリントやノート）を見返す、問題集や小テストを何度も理解するまで解きましょう。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	未来へひろがるサイエンス3（啓林館）
副教材	毎日の復習（正進社）

(6) 1年間の学習内容

学期	月	単元名
		担当：豊嶋
1	4	生命の連続性
	5	生命の連続性
	6	宇宙を観る
	7	宇宙を観る
2	9	化学変化とイオン
	10	化学変化とイオン
	11	運動とエネルギー
	12	運動とエネルギー
3	1	自然と人間
	2	自然と人間
	3	演習

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査(学期に1回)、実験の様子、授業プリント、小テスト、提出物
思考・判断・表現	1	定期考査(学期に1回)、授業プリント、発表、小テスト、提出物
主体的に学習に取り組む態度	1	授業ノート、学習レポート、授業の振り返り、提出物

8 音楽

(1) 学習の進め方

○実技（歌唱）

導入：本時のめあて提示
展開1：楽曲分析
展開2：発声練習、歌唱練習
終末：まとめ、振り返り

○実技（器楽）

導入：本時のめあて提示
展開1：楽器、楽曲分析
展開2：楽器練習、ペア・グループワーク
終末：まとめ、振り返り

○創作

導入：本時のめあて提示
展開1：創作の方法について
展開2：創作活動
終末：まとめ、振り返り

○鑑賞

導入：本時のめあて提示
展開1：楽曲分析
展開2：鑑賞、批評文
終末：まとめ、振り返り

(2) 学習する上での注意

歌唱や器楽、創作、どの題材でも、「自分でやってみよう。」と思わないと上達しません。もっと上手になるためにどうしたらいいかを考え、実践しながら、学習していきましょう。鑑賞や、楽曲分析をするときは、なぜ、この曲は明るく、もしくは楽しく聴こえるのか、悲しく聴こえるのはなぜか、などを考えます。

音楽は、次の要素からできています。【音色】【リズム】【速度】【旋律】【テクスチャ】【強弱】【形式】【構成】この7つの要素から、**気付いたこと**、そこから感じ取っていること、があります。（例えば、速度が速いから明るい感じ、強弱が強いから元気な感じ。など）このことを、**知覚・感受**と言います。知覚・感受した曲を自分でどうやって表現するか、どうやったら表現できるかを考えてみて、「音楽を楽しむ」、ということをしてほしいです。

(3) 家庭学習の進め方

普段は家庭学習の必要はありませんが、授業内で終わらなかった振り返りなどがあれば終わらせておきましょう。また、合唱の練習など、授業内だけでは足りないものは、音楽のクラスルームに音源を張り付けるので、自宅で練習してみましょう。

(4) 定期考査前の学習方法

授業のプリント、教科書を見返す。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	中学生の音楽2, 3年上・下 中学生の器楽 (教育芸術社)
副教材	コーラスフェスティバル (正進社)

(6) 指導内容

学期	月	題材名
1	4	「花」 「ブルタバ」
	5	「帰れソレントへ」「ボレロ」
	6	「創作課題」
2	7	「春に」
	9	「混声合唱曲」
	10	「混声合唱曲」
	11	「耳でたどる音楽史」
	12	「ギター」
3	1	「世界の諸民族の音楽」
	2	「ポピュラー音楽」
	3	「君が代」「校歌」 卒業式「混声合唱曲」

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	実技テスト・創作作品・定期考査・プリント
思考・判断・表現	1	実技テスト・創作作品・定期考査・プリント・批評文
主体的に学習に取り組む態度	1	授業態度・プリントの記述内容・実技テスト 創作作品・定期考査

9 美術

(1) 学習の進め方

○実技（製作活動）

- 導入：本時のめあて提示
- 展開1：実習内容の確認、進め方の確認
- 展開2：制作活動
- 終末：片付け、まとめ、振り返り

(2) 学習する上での注意

- ・ 忘れ物をしない
- ・ 見通しをたてて制作を進める
- ・ 常に自分の内面を意識して制作する

(3) 家庭学習の進め方

授業中の制作が主な活動となりますので、宿題等は特にありません。プリントの説明等、わからないところがあれば調べたり質問したりしてください。

(4) 定期考査前の学習方法

事前にポイントを指示しますので、指示されたポイントは確実に覚えるようにするとよいでしょう。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	美術2・3下（日本文教出版）
副教材	美術資料（秀学社）

(6) 学習内容

学期	月	単元名
1	4	デッサンの基礎 スクラッチボード①
	5	
	6	
	7	
2	9	スクラッチボード② 篆刻
	10	
	11	
	12	
3	1	自分へ贈る卒業記念品 篆刻
	2	
	3	

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査、作品、授業プリント、振り返り
思考・判断・表現	1	定期考査、作品、授業プリント、振り返り
主体的に学習に取り組む態度	1	作品、授業プリント、授業態度、振り返り

10 保健体育

(1) 学習の進め方

○授業構成（保健分野）

- 導入：本時のめあて提示
- 展開1：資料や課題の提示
- 展開2：考察等、学習活動（個人／グループ）
- 終末：まとめ、振り返り活動

○授業構成（体育分野）

- 導入：本時のめあて提示
- 展開1：内容及び進め方の確認・準備運動
- 展開2：練習・試合等（個人／ペア／グループ）
- 終末：まとめ、振り返り活動

(2) 学習する上での注意

- ① 1,2年生で身につけた知識や技能をもとに、より効果的で効率的な運動を目指します。運動のポイントを理論的に理解し、実践を通して技能を向上させます。
- ② 準備運動、整理運動、用具の安全な取り扱い、周囲への配慮など、常に主体的に行動しましょう。
- ③ 日常生活の中で疑問に思ったことや興味を持ったことを、授業や調べ学習を通して探求します。

(3) 家庭学習の進め方

体育分野は復習より予習が大切です。事前に授業内容のフォームやポイントを見ておくだけで、（教科書、ノート、タブレット掲載の資料等）イメージがわき、学習効果が見込まれます。実際に体を動かし、授業の中でわからなかったところは先生に聞いたり、グループワークでクラスメイトと分析することで、効率よく学習が進められます。

(4) 定期考査前の学習方法

授業の資料（プリントや学習ノート）を見返す、教科書を理解するまで読み込みましょう。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	新しい保健体育
副教材	ステップアップ中学体育・学習ノート

(6) 学習内容

学期	月	単元名	
		担当：乙坂	
		【体育分野】	【保健分野】
1	4	体づくり運動・陸上競技（短距離・リレー）	健康と環境
	5	バレーボール	健康と環境
	6	バレーボール・水泳	健康と環境
	7	水泳	健康と環境
2	9	体づくり運動・器械運動	健康な生活と疾病の予防③
	10	器械運動・バスケットボール	健康な生活と疾病の予防③
	11	バスケットボール・ソフトボール	健康な生活と疾病の予防③
	12	陸上競技（長距離走・走り幅跳び）	健康な生活と疾病の予防③
3	1	ダンス	文化としてのスポーツの意義
	2	体づくり運動・バドミントン	文化としてのスポーツの意義
	3	バドミントン	文化としてのスポーツの意義

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査・実技テスト・試合内評価・学習ノート（体育分野）プリント（保健分野）・単元ごとのレポート等
思考・判断・表現	1	学習ノート（体育分野）・プリント（保健分野）の記入内容（気づき、分析、課題、学び合い）話し合い活動時の行動観察・試合内評価
主体的に学習に取り組む態度	1	学習ノート（体育分野）・プリント（保健分野）・行動観察・提出物の状況や欠席

11 技術家庭

技術分野

(1) 学習の進め方

授業中に本時の目的、目安について説明しそれに沿って板書やパワーポイントで確認・説明していきます。

(2) 学習する上での注意

忘れ物、提出物の未提出などしないようにしましょう。

(3) 家庭学習の進め方

宿題等は出ませんが、夏休みの宿題には必ず取り組むようにしてください。

(4) 定期考査前の学習方法

学習した内容ですので、ノート等を確認していればできる内容です。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る（東京書籍）
副教材	2学期後半にキットの製作

(6) 1年間の学習内容（授業の時間は一週間に3時間※一年間で105時間）

学期	月	单元名
1	4、5	ガイダンス 情報セキュリティ技術、情報モラル
	6、7	電気回路について1
2	9	電気回路について2
	10	コンピュータの仕組みについて
	11	プログラムによる計測制御、計測制御の仕組みについて1
	12	プログラムによる計測制御、計測制御の仕組みについて2
3	1	キットの製作
	2	キットの製作
	3	学習のまとめ

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査 作品 技能テスト 小テスト
思考・判断・表現	1	定期考査 作品 ワークシート 小テスト
主体的に学習に取り組む態度	1	振り返りシート ノート ワークシート 行動観察

家庭分野

(1) 学習の進め方

○講義

導入 : 本時のめあて提示

展開1 : 教科書、プリントを使って進める

終末 : まとめ、振り返り

○実技(被服製作)

導入 : 本時のめあて提示

展開1 : 実習内容の確認、進め方の確認

展開2 : 被服実習

終末 : 片付け、まとめ、振り返り

○実技(調理実習)

導入 : 本時のめあて提示

展開1 : 実習内容の確認、進め方の確認

展開2 : 調理実習

週末 : 片付け、まとめ、振り返り

(2) 学習する上での注意

「自分の生活はどうだろう?」と考えながら学習をするとよいでしょう。例えば、幼児の分野では「自分が小さいときは〇〇が好きでよく遊んでいたな」、高齢者に関する分野では「高齢者がバスを降りる時、ひざを曲げにくそうにしていたな」など自分の生活と照らし合わせて考えると理解が深まります。また、授業で習ったことを家で実践してみると、知識や技能が高まります。

裁縫道具や調理実習のエプロンなど授業に必要な道具は自分で準備しましょう。貸し借りはしません。

実習はミシンや包丁、ガスなど事故の危険性が高い授業内容です。道具を正しく使用し、実習内容を理解しながら安全に実習に臨みましょう。

(3) 家庭学習の進め方

普段は家庭学習の必要はありませんが、授業内で終わらなかった内容などがあれば、終わらせておきましょう。家庭で自分の仕事を担っていれば、実習や教科書の内容がよく理解できます。また、夏休みに実習を伴う宿題を出します。期日までに提出をしてください。

(4) 定期考査前の学習方法

試験範囲の授業のプリント、教科書を見直し、重要なポイントをまとめしっかりと覚える。教科書やプリントに学習ページや練習問題があれば、自主的に取り組み、確認をしましょう。実習内容が範囲の場合は、製作の手引き、手順や縫い方、実習内容や切り方などを丁寧に復習しましょう。

(5) 使用教科書・主な教材

教科書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）
副教材	（特になし）

(6) 学習内容

学期	月	単元名
1	4	ガイダンス、私たちの食生活（復習） 衣服の補修（まつり縫い）
1	5	私たちの成長と家族・地域 幼児の生活と家族
1	6	私たちの成長と家族・地域 幼児の生活と家族（幼児のおもちゃ作り）
1	7	幼児の生活と家族（幼児のおもちゃ作り）
2	9	幼児の生活と家族（幼児のおもちゃ作り）
2	10	幼児の生活と家族（幼児のおもちゃ作り）
2	11	幼児の生活と家族（幼児のおもちゃ作り）
2	12	生活の課題と実践
3	1	私たちの成長と家族・地域 これからの家族と地域
3	2	私たちの成長と家族・地域 これからの家族と地域
3	3	幼児の生活と家族（幼児のおやつ作り）

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	定期考査、作品（製作物）、プリント等
思考・判断・表現	1	プリント、作品（製作物）、課題等
主体的に学習に取り組む態度	1	プリント、作品（製作物）、課題等

12 英語

授業時数 … 週4時間
授業形態 … 少人数クラス

(1) 授業の進め方

- ① 単語テストを毎時間1ページずつ行います。週に1回はPCのぽちぽちテストになります。
- ② すらすら English で、既習事項を使って会話をします。
- ③ 教科書の内容または文法事項についてワークシート等を使って学習します。
- ④ 単元がおわった時には、単元テストを行います。
- ⑤ リスニングの練習としてディクテーションを行います。

(2) 学習する上での注意

- ① ペアワーク・グループワークでは、積極的にコミュニケーションをとることが大切です。
- ② 提出物は、範囲と提出期限を自分で確認し、遅れずに提出してください。
- ③ 配布されたプリントは捨てずにファイルへ保管してください。
- ④ 人のスピーチや作文を馬鹿にしたり笑ったりしないでください。
- ⑤ 予習や宿題は授業が始まる前までに終わらせてください。
(事情がある場合は、授業が始まる前までに先生に相談しましょう)

(3) 持ち物

7点セット…ファイル、教科書、罫線入りのノート、英単語99%、
Joyfulwork、すらすら English、3年間の総整理問題集

(4) 家庭学習の進め方

- ① 予習：教科書本文のうつしと新出単語を書いて予習ノートを作ってください。
- ② 復習：こまめにワークを進めてください。テストや提出の指示は1週間前には提示します。出された宿題は必ず終わらせてから授業に参加してください。
- ③ 提出物：問題集は一問ずつ丸付け・やり直しをして提出してください。
- ④ 授業ノート：テストの期間に提出をしてください。

(5) テスト前の学習の進め方

- ① テスト範囲表が配られたら、それをよく見て教科書やワークを使って学習してください。
- ② 予習ノート、ワークをきちんとすすめていけば提出物に追われることはありません。
- ③ 渡されたプリントはすべてファイルにとじて、テスト前に見返せるようにしてください。
- ④ 分からないことは、はやめに先生に聞いてください。

(6) 学習内容

学期	月	単元名
1	4	Lesson1 Join us
	5	Lesson2 The Power of Music
	6	Lesson3 Cranes for Peace
	7	Project1 旅行プランの提案
	7	Reading Lesson1 What Makes Music?
2	7.8	Lesson4 Bollywood Movies
	9	Lesson5 Translating Culture
	10	Lesson6 Being Fair
	10	Project2 ラジオの 30 秒 CM
	11	Reading Lesson2 I Have a Dream
	11	Lesson7 Design for Change
3	12	Lesson8 For Our Future
	1	Project3 10年後の自分へのメッセージ
	2.3	Reading Lesson3 Learning from Nature

(7) 観点別評価の割合と評価の主な対象

評価の観点	割合	評価の主な対象
知識・技能	1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・リスニングテスト ・単語テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・リスニングテスト ・定期テスト ・パフォーマンステスト ・すらすら English
主体的に学習に取り組む態度	1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノートの取り組み ・問題集の取り組み ・パフォーマンステスト ・ディクテーション